

経営比較分析表（令和4年度決算）

香川県 観音寺市

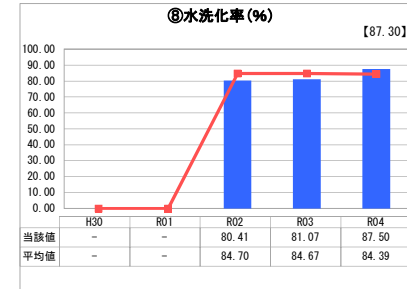
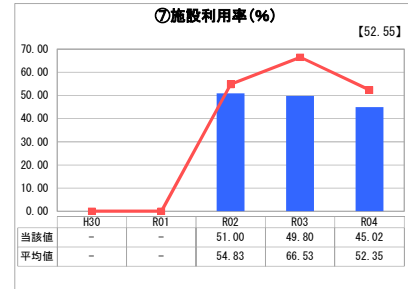
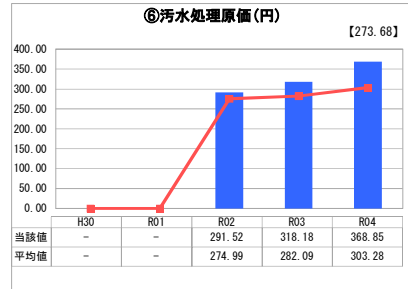
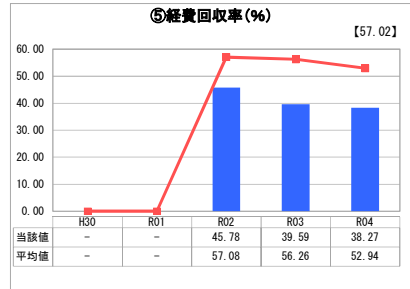
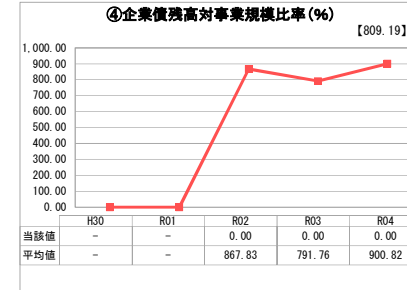
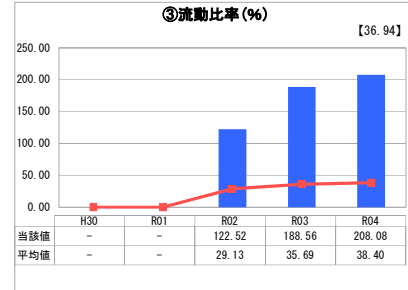
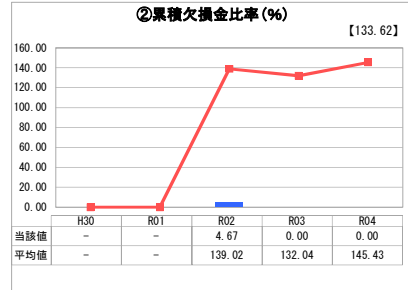
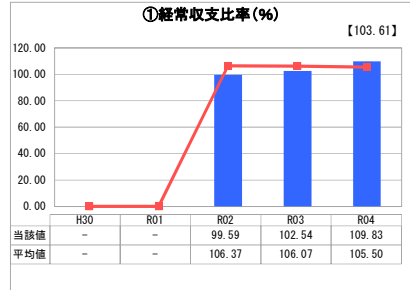
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	84.07	1.03	100.00	3,140

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
57,738	117.83	490.01
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
592	0.28	2,114.29

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率が100%を上回り、②累積欠損金比率が0%ではあるが、⑤経費回収率が低水準で推移しており、使用料で回収できない費用を一般会計からの繰入金で賄っている状況である。新規接続により⑧水洗化率が上昇したものの、類似団体平均値に対して、⑥汚水処理原価が高く、⑦施設利用率が低い。引き続き汚水処理費の削減に取り組み、施設更新時には施設規模の適正化を検討する。

③流動比率は、類似団体平均値を大きく上回り、④企業債残高対事業規模比率は、一般会計からの繰入金で償還額全額を賄っているため0%である。

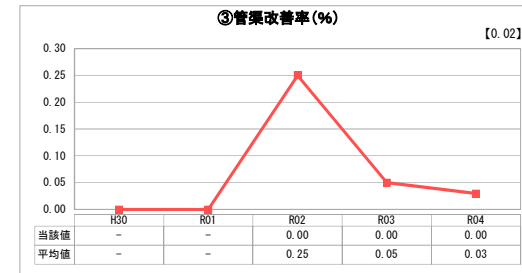
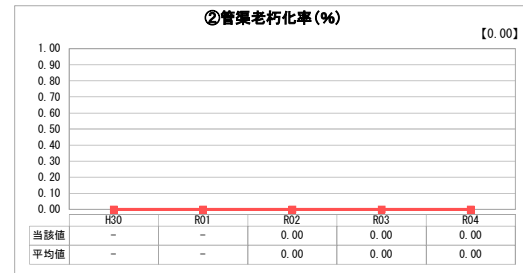
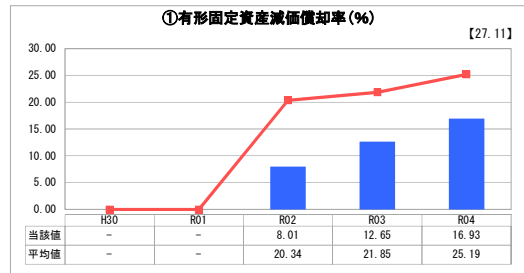
2. 老朽化の状況について

観音寺市にある3つの処理区のうち最も古いものは、平成5年度に事業を開始している。

①有形固定資産減価償却率が類似団体平均値を大きく下回っているが、これは令和2年度に公営企業会計へ移行してからの減価償却累計額を基に算出しているためであり、今後の上昇が見込まれる。

耐用年数を超えた管渠がなく、更新実績もないため②管渠老朽化率と③管渠改善率はともに0%である。引き続き計画的な維持管理に努める。

2. 老朽化の状況



全体総括

経費回収率が低く、一般会計からの繰入金に依存した経営状況が続いている。維持管理費削減の継続した取り組みや料金改定の検討等、経営改善を図り、経費回収率の向上に努める。

指標には現れていないものの、施設の老朽化は進んでいるため、長寿命化による改修や施設規模の適正化等を検討し、施設更新に係る費用の抑制を目指す。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。